

# Kibi+ Amanogawa

## 仮説生成のための発見型概念検索AIシステム

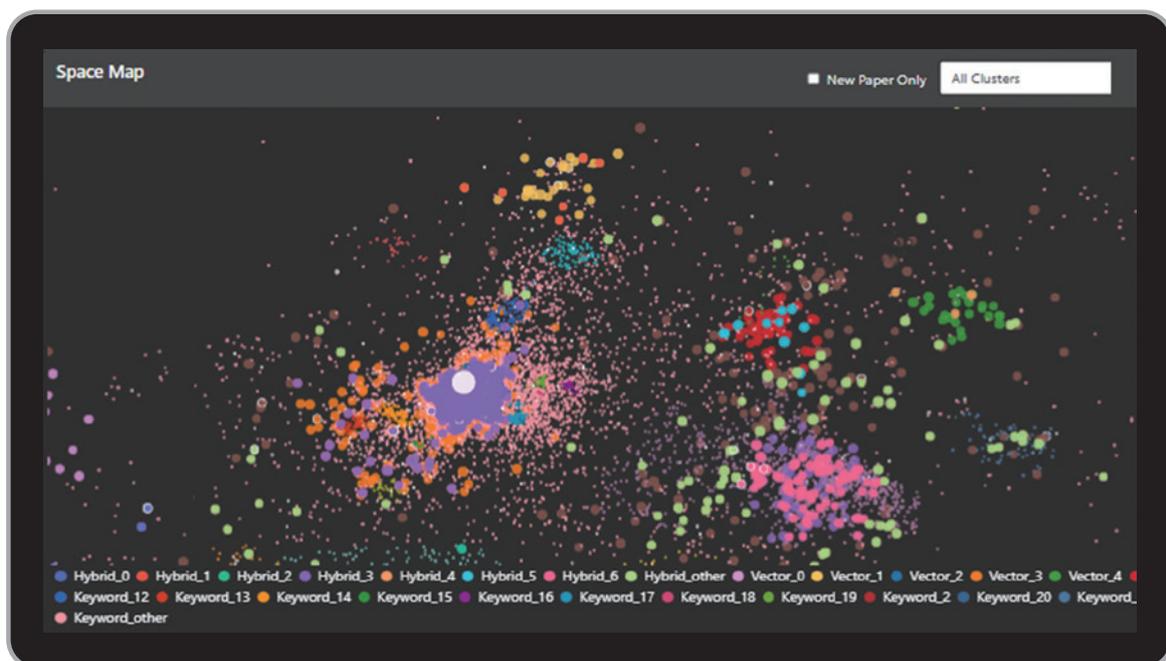
- 創薬研究者が仮説生成のために開発したAIシステム
- 分布仮説\*1に基づいたアルゴリズムで、類似性・関連性の高い論文を抽出
- 仮想的に概念を足し引きし、新たな着想を得る

FRONTEO独自の自然言語処理AI技術を用いた論文探索AIシステムです。単語や文章、仮説を入力すると、AIがPubMed\*2に掲載されている膨大な論文情報から、類似性・関連性の高い論文情報を即時検出・解析します。

人の作業では膨大な時間を要していた作業が大幅に効率化されることに加え、従来のキーワード検索では発見できなかった情報や、検索者によるバイアスの掛からない情報を見つけることが可能となり、医学・創薬研究における客観的・網羅的な分析を実現します。企業・機関が独自に保有するデータを読み込ませるなどのカスタマイズにも対応する、拡張性の高いアプリケーションです。(特許登録番号: 特許第6976537号)

\*1 自然言語処理における、単語はその周りの単語で特徴づけられるという考え方 (Harris Z., 1954, Distributional Structure, WORD, 10:2-3, 146-162.)

\*2 米国国立医学図書館の国立生物科学情報センターが運営する生物医学領域の論文データベース。 <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/>



論文情報の解析結果を「Space Map」に表示。1つ1つのドットは各論文を示します。

概念的に近い内容の論文の多さや類似度が色・位置関係から把握でき、同 Clusterでも離れた場所にある論文などから新たな着想や仮説のヒントを得ることができます。

